

調査件名 地区緑化調査 試験年月日 \_\_\_\_\_

試料番号 (深さ) S-1 (GL-1.00~-2.00m) 試験者 地盤 太郎

試験方法		水頭法 減圧法, 加圧板法, 加圧膜法				土質名称		
試料の状態 <sup>1)</sup>		三重管サンプラーによる塊状試料		供試体作製方法 <sup>2)</sup>		火山灰質粘土		
		トリミング法				供試体の状態 (飽和) 不飽和		
供試体No.	1	測定段階	1	2	3	4	5	6
土ポテンシャル	$h^{(3)}$	cm	0.00	3.20	10.0	31.6	100	
	$p^{(3)}$	kPa						
	土中水のポテンシャル <sup>5)</sup> kPa		0.00	-0.313	-0.979	-3.09	-9.79	
含水比	直接測定	容器 No.						
		$m_a$	g					
		$m_b$	g					
		$m_c$	g					
		$w_i$	%					
排水量から計算	排水量の読み		7.16	8.43	8.81	13.69	18.95	
	排水質量 $d_i$	g		1.27	0.38	4.88	5.26	
	供試体質量 $m_i$	g	214.12	212.85	212.47	207.59	202.33	
	含水比 $w_i$	%	63.0	62.0	61.7	58.0	54.0	
体積含水率	体積 $V$	cm <sup>3</sup>						
	乾燥密度 $\rho_d$	g/cm <sup>3</sup>						
	体積含水率	%						
最終段階終了後	容器 No.	1	(供試体+容器)質量 g		203.56	供試体質量 $m$ g		202.33
	容器の質量 g	1.23	(炉乾燥供試体+容器)質量 g		132.60	炉乾燥供試体質量 $m_s$ g		131.37
供試体No.		測定段階	1	2	3	4	5	6
土ポテンシャル	$h^{(3)}$	cm						
	$p^{(3)}$	kPa						
	土中水のポテンシャル <sup>5)</sup> kPa							
含水比	直接測定	容器 No.						
		$m_a$	g					
		$m_b$	g					
		$m_c$	g					
		$w_i$	%					
排水量から計算	排水量の読み							
	排水質量 $d_i$	g						
	供試体質量 $m_i$	g						
	含水比 $w_i$	%						
体積含水率	体積 $V$	cm <sup>3</sup>						
	乾燥密度 $\rho_d$	g/cm <sup>3</sup>						
	体積含水率	%						
最終段階終了後	容器 No.		(供試体+容器)質量 g			供試体質量 $m$ g		
	容器の質量 g		(炉乾燥供試体+容器)質量 g			炉乾燥供試体質量 $m_s$ g		

特記事項

- ・ 試料採取深度は地下水位以浅
- ・ 自然含水比  $W_n=165.1\%$

- 1) 試料の採取方法, 試料の状態(塊状, 凍結, ときほぐされた)などを記載する。
- 2) トリミング法, 凍結試料の場合は, 解凍方法などを記載する。
- 3) 供試体中心とビューレットの水位との高低差(水頭法のみ)
- 4) 減圧法, 加圧法: 負荷した圧力  
初期ポテンシャル値: 測定した圧力
- 5) 水頭法:  $= -w \cdot h \times 9.8 \times 10^{-2}$   
減圧法:  $= p$  加圧法:  $= -p$   
初期ポテンシャル値:  $= p$

$$w_i = \frac{(m_{i+1} + d_{i+1} - m_s)}{m_s} \times 100 = \frac{w_i \times d}{w}$$

[1kPa 0.0102kgf/cm<sup>2</sup>]



調査件名 地区緑化調査 試験年月日

試料番号（深さ） S-1 (GL-1.00~-2.00m) 試験者 地盤 太郎

試料の状態 <sup>1)</sup>		三重管サンプラーによる塊状試料		供試体作製方法 <sup>2)</sup>		トリミング法		土質名称	
供試体 No.	1	容器 No.	1	容器質量 g	1.23			火山灰質粘土	
測定段階		1	2	3	4	5	6		
土中水のポテンシャル	設定	ろ紙面の回転半径 $r_0$ cm	8.80	8.80					
		供試体中央の回転半径 $r_1$ cm	6.25	6.25					
		回転数 $n$ min <sup>-1</sup>	2150	6800					
		土中水のポテンシャル kPa	-97.3	-973					
	補正	停止後の供試体中央の回転半径 $r_1$ cm	6.30	6.30					
土中水のポテンシャル kPa		-95.7	-957						
含水比	直接測定	容器 No.							
		$m_a$ g							
		$m_b$ g							
		$m_c$ g							
	供試体質量から計算	(供試体+容器)質量 g	196.47	185.21					
供試体質量 $m_i$ g		195.24	183.98						
含水比 $w_i$ %		48.6	40.0						
体積含水率	供試体体積 $V$ cm <sup>3</sup>								
	乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>								
	体積含水率 %								
炉乾燥質量	(炉乾燥供試体+容器)質量 g	132.60		特記事項 ・ 試料採取深度は地下水位以浅 ・ 自然含水比 $w_n=165.1\%$					
	容器 No. 1 容器的質量 g	1.23							
	炉乾燥供試体質量 $m_s$ g	131.37							
供試体 No.	1	容器 No.	1	容器質量 g	1.23				
測定段階		1	2	3	4	5	6		
土中水のポテンシャル	設定	ろ紙面の回転半径 $r_0$ cm							
		供試体中央の回転半径 $r_1$ cm							
		回転数 $n$ min <sup>-1</sup>							
		土中水のポテンシャル kPa							
	補正	停止後の供試体中央の回転半径 $r_1$ cm							
土中水のポテンシャル kPa									
含水比	直接測定	容器 No.							
		$m_a$ g							
		$m_b$ g							
		$m_c$ g							
	供試体質量から計算	(供試体+容器)質量 g							
供試体質量 $m_i$ g									
含水比 $w_i$ %									
体積含水率	供試体体積 $V$ cm <sup>3</sup>								
	乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>								
	体積含水率 %								
炉乾燥質量	(炉乾燥供試体+容器)質量 g			特記事項					
	容器 No. 容器的質量 g								
	炉乾燥供試体質量 $m_s$ g								

1) 試料の採取方法，試料の状態（塊状，凍結，ときほぐされた）などを記載する。

$$V = \pi \left( r_1 - \frac{r}{2} \right)^2 n^2 \times 1.097 \times 10^{-6}$$

$$r = r_1 - r = w_i \times \frac{d}{w} \quad [1\text{kPa} \quad 0.0102\text{kgf/cm}^2]$$

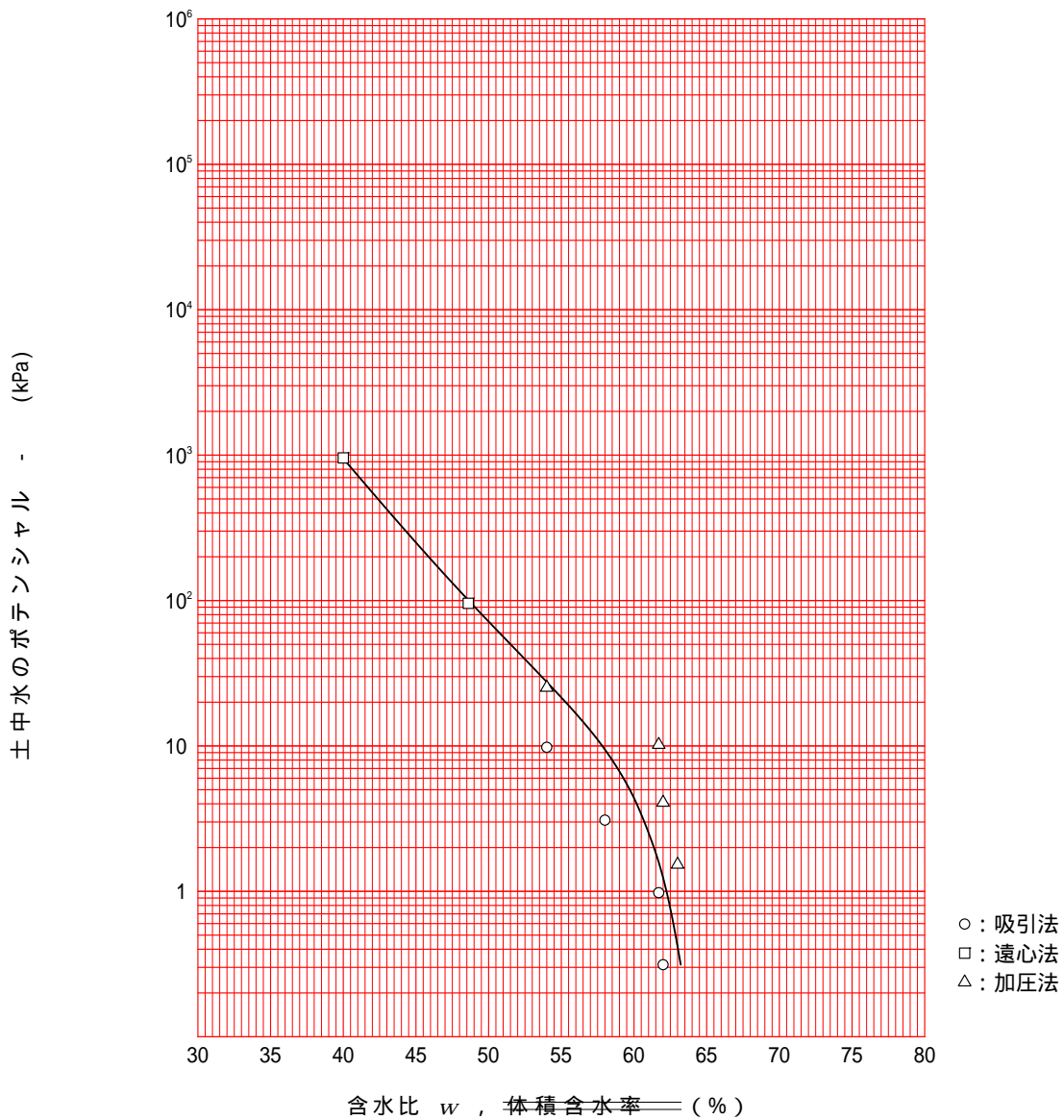
$$w_i = \frac{(m_i - m_s)}{m_s} \times 100$$

2) トリミング法，凍結試料の場合は，解冻方法などを記載する。

調査件名 地区緑化調査 試験年月日

試料番号 (深さ) S-1 (GL-1.00 ~ -2.00m) 試験者 地盤 太郎

土質名称	火山灰質粘土		試料の状態 <sup>1)</sup>	三重管サンプラーによる塊状試料			試験過程		
							排水過程	吸水過程	
試験方法	吸引法			遠心法			加圧法		
kPa	0.00	-0.313	-0.979	-95.7	-957		-1.53	-4.08	-10.2
含水比 $w\%$	63.0	62.0	61.7	48.6	40.0		63.0	62.0	61.7
体積含水率 %									
kPa	-3.09	-9.79					-25.2		
含水比 $w\%$	58.0	54.0					54.0		
体積含水率 %									



特記事項

- ・ 試料採取深度は地下水位以浅
- ・ 自然含水比  $w_n=165.1\%$

1) 試料の採取方法, 試料の状態 (塊状, 凍結, ときほぐされた) などを記載する。

[1kPa 0.0102kgf/cm<sup>2</sup>]